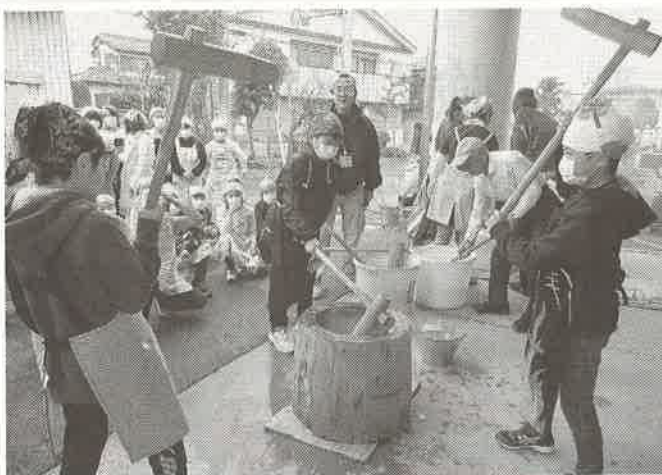


もちつき体験学習が新聞に掲載されました。

2019年(平成31年)1月3日 (2)

### 栗 橋

## つきたての味は格別 栗橋小 餅つき・大熊さん協力



餅つきをする児童たち

### 久喜(菖蒲・鷺宮・栗橋)版

久喜市立栗橋小学校(金子孝雄校長)の5年生の児童120人が餅つき体験を12月7日に行いました。

同校で学習の補助などを行う学校応援団のメンバー大熊倉吉さん(70)は、農地を学校ファームとして提供し、田植えや稲刈りを指導していま

す。今回は120キロのもち米を提供。収穫祭の意を込めて、杵と臼で餅つきをしました。

もち米はPTA会員が前日から準備して、8台のかまどで蒸されると、あらかじめ器械で少しづついてから臼に入れました。児童は3人一組になって「1、2、3」の掛け声で杵を振り下ろして

つきます。始めは杵が縁に当たってしまってもありましたが、柄を持つ位置のアドバイスを受けからは、調子良くつけるように。児童の細野志保さんは「杵が重くてフラフラしましたが、とても楽しくできました」と話しました。

児童は紅白と、紫芋を入れた紫色の3種類の餅を手際良く丸め、きな粉、海苔、みたらし、あんこなどで試食しました。

自分たちでついた餅は格別の味わいになったよ。うで、伊藤世達志君は「粘りがあってとてもおいしいです。海苔が好きです」と話し、三角莉糊さんは「つきたてなのでまだ温かいです」と笑顔

# 埼玉よみうり

2019年(平成31年)1月3日(第465号)月1回発行